



OSAKA UNIVERSITY

大阪大学

文学部 日本文学・国語学専修

6.8.Wed. at Toyonaka
10:30~12:00

金水 敏 教授



OSAKA UNIVERSITY



大阪大学 文学部の魅力

「文学部」というと、多くの大学で中心となっているのが哲学、史学、文学の分野だ。阪大文学部は、その3分野がしっかりと確立されていることに加えて、美学や、音楽学、演劇学という他の国立大にはあまりみられない新しい分野も網羅していることが大きな特長だ。伝統的な分野を柱としながら、ユニークな分野も取り込んで進化している、勢いのある文学部といえる。



「我々が役割語の知識をどこから得ているかというと、現実の社会の中よりも、ヴァーチャルな創作物、つまりドラマや漫画、小説などから得ることの方が多いです」と金水

先生は言う。「そうした創作物の作りの側に立つと、役割語を使うことによって、その人物がこういうキャラクターですよということを、端的に示すことができるんです」

特に子ども向けのものほど、キャラクターを際立たせるために役割語をよく使う傾向がある。その最たるものが「それいけ! アンパンマン」だ。このアニメにはたくさんのキャラクターが登場するが、キャラクターに、見た目や声だけでなく、言葉づかいも違っているそうだ。

典型的な例は「アンパンマン」
国語学の分野で「役割語」とは

ドラマやアニメなど
身近な創作物を題材に
「役割語」を考える

今日の講義

対象学年：学部2~4年生。

流れ：

2~3人の学生でチームを作り、一回につき1チームが発表を行う。毎回、役割語に含まれる語を1~2語取り上げ、その語の意味・機能、想起させるキャラクターの特徴等について、調査・収集した用例に基づき分析・考察する。

講義を通じて身につく力：

自分で用例を探し、分析する力。調べた内容を整理し、資料を適宜用いて分かりやすく発表する力。発表に対して意見を述べ、コミュニケーションを通して議論を深めていく力。調査から発表までをチームで行う協調性。

おもしろさ・醍醐味：

語彙の思いがけない歴史的背景を知ること、意外なキャラクターの発見、時間を超えて言葉が生まれ変わっていくダイナミズムに触れることなど。

その他、講義の雰囲気など：

文芸作品だけでなく、マンガ、アニメ、映画、流行歌、ゲーム等、なじみ深いポピュラーカルチャー作品を多く扱うので、参加者が自分の知識を存分に使って活発な議論を毎回戦わせている。

この「国語学演習」では、2~3人からなるチームごとに役割語を

1~2語選び、その言葉についての分析、考察を発表する。

「おじゃる」を使用するキャラクターの登場
その驚きの変遷

この日の演習は役割語「おじゃる」についての発表。「おじゃる」を使用する人物としては、公家のイメージが一般的だ。今回担当するチームは、その「おじゃる」について、時代別にみた使われ方や、ヴァーチャル創作物における用例を分析した。

近年、時代劇における「おじゃる」の使用頻度が減った一方で、アニメやゲーム、特撮の世界では、「おじゃる」を使用する個性的なキャラクターが登場している。その一つが、「それいけ! アンパンマン」に登場する「ちゃんむし」だ。茶わん蒸しと平安貴族をモチーフにしたキャラクターだ。その後、「おじゃる」言葉を使用するキャラクターが主人公の「おじゃる丸」というアニメが誕生した。

現在の「おじゃる」像に大きな影響を与えたと思われるのが、1978年に公開された映画「柳生一族の陰謀」だ。この



特撮やゲームでは、悪役や、さらには滑稽なギャグキャラクターとして、「おじゃる」を使うキャラクターが登場することが多い。また、公家とは結びつかないキャラクターも増えた。こ

VOICES 学生の声
of University Students



鈴木 飛鳥さん(左)
文学部 日本文学 国語学2年

普段何気なく使っている言葉や目にする言葉が、どのように作品から発生して、どんな風に今まで変遷してきたのか、どんな人が使っているのかなどを分析するのがとてもおもしろいです。

岩元 友季絵さん(中央)
文学部 日本文学 国語学2年

役割語という学問はまだ未開の分野なので、今回の発表も、最初は「どこから手をつけたらいいんだろう?」という感じでした。でも今まで誰かが取り組んだ形跡がないことなので、わくわくしました。

久田 行雄さん(右)
文学部 日本文学 国語学3年

アニメなどのポピュラーカルチャーを題材にしたり、今起きていることを研究できるのが魅力。他の人が書いた論文などがほとんどないので、自分で一から調べなくてはならない。それがおもしろいところだ。

「文学部で学ぶことは、教員養成を除けば、直接社会で役立つことは多くないと言えます。例えば今回の震災のようなことがあっても、直接人を助けられるわけではありません。だからといって学ぶ価値がないかというと、そう



ではないかと思えます」過去に人間の生き方、考え方、築き上げてきたものを知ることから、自分の生き方のヒントを得る。これこそ「学び」の原点ではないだろうか。

金水先生は、これから大学を選び受験する高校生に次のようなメッセージをくれた。

発表の後は、学生全員が今回の発表についての感想や疑問点を述べ、最後に金水先生がまとめた。「おじゃる」という言葉づかいには、品格やプライドの高さというイメージだけでなく、打算強さや陰険、時代遅れというようなイメージがあり、それが公家だけでなく、さまざまなキャラクターに広がっていったのではないかと考えられます」

金水先生は、これから大学を選び受験する高校生に次のようなメッセージをくれた。

文学部は役に立たないは大間違い!
生きる意味を見出す力を養う

れについて発表者は「日常生活で使う人が少ないため、それを使う人に奇異な印象、時代錯誤の感

を持たせる言葉となり、そこからギャグキャラクターの要素が派生してきたと思われる」とまとめた。

大阪大学

文学部

人間科学部

外国語学部

法学部

経済学部

理学部

医学部

歯学部

薬学部

工学部

基礎工学部

教員数

教授 847名

准教授 705名

講師 168名

学生数

学生数 24,757名

(大学院併設の場合は、院生数も含む)

平成23年5月1日現在

〔沿革・歴史〕

- 1724 (享保 9) 年 懐徳堂創設
- 1838 (天保 9) 年 適塾創設
- 1931 (昭和 6) 年 医学部と理学部の2学部からなる我が国6番目の大阪帝国大学創設
- 1933 (昭和 8) 年 工学部設置
- 1947 (昭和22) 年 大阪大学と改称
- 1949 (昭和24) 年 学制改革により理・医・工・文・法の5学部を設置 一般教養部設置
- 1951 (昭和26) 年 歯学部設置
- 1955 (昭和30) 年 薬学部設置
- 1961 (昭和36) 年 基礎工学部設置
- 1972 (昭和47) 年 人間科学部設置
- 2004 (平成16) 年 国立大学法人に移行
- 2007 (平成19) 年10 月 大阪外国語大と統合し、外国語学部設置

資料の請求および
お問い合わせ先

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1 大阪大学学生部入試課
電話：06-6879-7097
メール：gakusei-nyusi-dai1@office.osaka-u.ac.jp

〔オープンキャンパス情報〕

8月8日(月)人間科学部、10日(水)工学部、
11日(木)医学部(保健学科)、18日(木)薬学部、
19日(金)歯学部、23日(火)医学部(医学科)
吹田キャンパス

8月9日(火)理学部、17日(水)基礎工学部、
18日(木)経済学部、19日(金)法学部、
22日(月)文学部
豊中キャンパス

8月9日(火)外国語学部
箕面キャンパス

※詳細は、大学ホームページ
をご覧ください。

